

ふくい生衛だより

題字 福井県知事 西川 一誠

発行所/福井市松本3丁目16-10 (公助)福井県生活衛生営業指導センター 発行人/理事長 友本 正己 印刷所/(有)田中印刷堂

新年のごあいさつ



福井県知事 西川 一誠

生活衛生関係営業者の皆様、新年あけましておめでとうございます。お健やかに新春を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

さて、去年の「福井しあわせ元気国体・障スポ」では、天皇皇后両陛下をはじめ、多くの皇室の方々をお迎えし、福井県は天皇杯・皇后杯を獲得して完全優勝を果たしました。また、全国に先駆けた両大会の

『融合』や来県者へのおもてなしボランティアなど、大きな成功を収めることができました。これらは、県民の皆様が一丸となって成し遂げた成果です。特に、生活衛生同業組合連合会の皆様には、衛生対策に万全を期すとともに、特色あるおもてなしをしていただくなど、業界一丸となって両大会を支え、盛り上げていただきました。改めて深く感謝申し上げます。

さらに、幕末明治福井百五十年博の開催や年縞博物館の開館、「いちほまれ」の本格生産・全国販売開始や「越前がに」の地理的表示保護制度(GI)登録、三回連続「幸福度日本一」など、福井県を国内外に強く印象づけた一年となりました。

そして、県民生活や産業の新しい基盤となる北陸新幹線や中部縦貫自動車道は、四年後の県内開業・開通に向け、大事な仕上げの段階へと整備が進んでいます。

新しい年は、これらの良い流れをさらに加速させ、県勢をより高いステージへ引き上げるステップの年にしなければなりません。

県民の暮らしの基軸である農林水産業をはじめ、先端技術や成長分野を取り入れたふるさと産業の活性化、魅力発信や海外からの誘客をさらに強化する観光振興などの新たな戦略を策定、実行します。人生百年時代に誰もが輝き、そして福井を本拠に国内外への挑戦を全うできる環境を整えるとともに、人口減少下においても県民が生きいきと健康に暮らせる社会を市町とともにつくってまいります。

生活衛生関係営業者の皆様におかれましては、日頃から衛生水準ならびにサービスの向上に努められ、県民の安全で快適な生活の実現にご尽力いただいております。県といたしましては、県民の日常生活と関わりの深い生活衛生関係営業の更なる発展に向けて、引き続き積極的に応援してまいりますので、今後とも生活衛生行政の推進にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

年頭に当たり、皆様のますますのご多幸とご活躍をお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。



新年のご挨拶



公益財団法人 福井県生活衛生営業指導センター理事長
福井県生活衛生同業組合連合会会長

友本 正己

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えになられたことと心よりお慶び申し上げます。

また、日頃は当指導センターならびに当連合会の事業運営に深いご理解とご協力を賜っておりますことに感謝申し上げます。

昨年は、半世紀ぶりに開催された「しあわせ福井元気国体・元気大会」に当たり、生衛業界が一丸となって、県外からのお客様を、心のこもったおもてなしでお迎えできました。特に「国体おもてなし協力店」に応募された飲食店の皆様、銭湯の無料開放を実施された公衆浴場業生衛組合の皆様には、心より厚くお礼申し上げます。

さて、改元に合わせたかのように、生衛業界を取り巻く環境には大きな変化が押し寄せております。健康増進法に基づく受動喫煙防止、消費税率引上げに伴う軽減税率導入、東京五輪も視野に入れた外国人インバウンド対策、いずれも待ったなしです。さらに、23年春には北陸新幹線の県内開業を控え、福井県を全国にアピールすることも忘れてはなりません。

皆様におかれましては、今後とも、生衛業界の振興、発展により一層のご尽力を賜りますようお願いいたします。

結びに、皆様のご健康と今後益々のご発展を祈念いたしまして、新年の挨拶といたします。

謹んで新春のお慶びを申し上げます

(公財)福井県生活衛生営業指導センター役員一同

理事長 友本正己 (社交飲食業)

副理事長 山崎一美 (公衆浴場業) 中野達也 (理 容) 光森幸夫 (中華料理)

理 事 木田美代子 (美容業) 山崎俊春 (クリーニング業) 加賀 元 (興 行)

土田耕一 (旅館ホテル) 木村裕昌 (料理業) 塚田 堅 (寿司商)

寶山榮一 (麺類業) 熊谷 靖 (喫茶飲食業) 中村 勉 (飲食業)

森谷淳一 (食 肉) 池田禎孝 (福井県健康福祉部長)

専務理事 橋本利廣

監 事 北川昌信 (クリーニング業) 渡辺良一 (料理業) (平成31年1月1日現在)

平成30年度生活衛生功労者の表彰

本年度の生活衛生功労者として、次の方々が栄えある厚生労働大臣表彰、全国生活衛生同業組合中央会理事長表彰、福井県知事表彰、福井県生活衛生同業組合連合会長表彰を受賞されました。

日頃のご研鑽に敬意を表し、心からお祝いを申し上げますとともに今後とも益々のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げます。

厚生労働大臣表彰

八木 眞一郎（旅館ホテル） 木下 善博（麺類業）

全国生活衛生同業組合中央会理事長表彰

上野 心さゝ（美容業） 大牧 貞一（公衆浴場業）

佐々木 哲男（麺類業） 西本 邦雄（料理業）

中村 勉（飲食業） 中屋 富史男（社交飲食業）

福井県知事表彰

寶山 栄一（麺類業） 佐々木 繁夫（理容） 山本 照子（美容業）

清水 嗣能（旅館ホテル） 飛矢 孝行（料理業） 佐藤 好美（飲食業）

南 孝二（社交飲食業） 山口 義信（中華料理）

福井県生活衛生同業組合連合会長表彰

土田 耕一（旅館ホテル） 野尻 清志（理容） 片岡 敬子（美容業）

小柳 岳志（飲食業） 後藤 和憲（社交飲食業） 廣瀬 保岳（中華料理）

組 合 だ よ り

理容生活衛生同業組合

「 R I Y O しよっさ 」

今年度の新規事業として、ホームページのリニューアルをしました。組合員の方へいち早く情報を提供するだけでなく、全国へ向けて福井から「R I Y O しよっさ」という名前で発信しています。

共働き率、女性労働者人口ともに日本一である福井県に若者が移り住んでくれて、職業の選択の一つとして理容業を選んでいただければと、当組合は居抜き店舗物件をご用意し、開業までのサポートをします。居抜き物件は、前オーナーの思いが詰まった大切な宝物であり、それを継承していくことが、今まで長年にわたって組合を支えてきてくださった組合員の方々への恩返しにもなります。

また、施設や在宅で寝たきりの高齢者等に対する「訪問理容サービス」を、ホームページからお問い合わせができるようにしました。店舗情報として、送迎可能かどうか、バリアフリーの設備があるか等も地域別に記載していますので、お住まいの近くの理容店が一目でわかります。このサービスをたくさんの方に知ってもらいご利用いただき、清潔で快適にお過ごしいただければ幸いです。

美容業生活衛生同業組合

平成にかわる新たな年を迎え、福井県美容業生活衛生同業組合では、お客様と組合員を「安全安心」な美容サービスでつなぐ事業を数多くおこなっています。中でも、美容業の衛生法規や美容室の衛生管理を一年に一度自主的に確認し知識を蓄積し消費者へのサービスを目的とした衛生管理講習会を県内六か所の地区所轄の会場にて開催し、受講者には『厚生労働省後援の衛生管理講習会受講済ステッカー』を配布しています。今後、育児や高齢者施設等に出張して施術する訪問美容の需要が増えると考えられ、利用者の安全確保を提供するうえで毎年受講を義務づけております。また、後継者育成事業として、少子高齢化の影響で減少する美容師のなり手を少しでも増やす努力として多方面のサポート事業を展開しており、平成30年も大和田キッズオブワンダー開催時に子ども美容体験ブース「美ツザニア」を出展しました。

日々変化するファッションへの組合員への情報発信も大切な業務の中、日本伝統の和装の良さ、愉しさを再認識し、婚礼・成人式・インパウンドにつながる和装ビジネスを学ぶ「和装着付け講習会」をはじめ、個性や自らの意見を相手に伝え、お互いの違いを理解し融合し合うことで新たな文化や価値を生むパーソナルデザインを学ぶ「美容力アップセミナー」や福岡県博多にて開催した第103回TMモードで発表された最新のヘアーと新作帯結びの普及講習会、国内外で広く活躍するトップスタイリストの仕事之余すことなく感じとれる「ビューティエキシビジョン2018」、これからの美容室経営に必要なお客様に選ばれるお店づくりのプロモーション&SNS活用セミナーなど、常に時代の流れに対応した事業活動をおこなっています。

公衆浴場業生活衛生同業組合

50年に一度の、そして天皇陛下御在位最後となる福井国体の開会式に御臨席を賜り開催されました。当日は悪天候の中、選手や関係者の方々、ボランティアの方々が一丸となってオープニングを盛り上げている姿に感動いたしました。

当組合では、福井国体・障害者スポーツ大会期間中に参加される選手、役員の方々に宿泊される旅館、ホテルなどの浴場施設に限りがあるため、銭湯を使って待ち時間を解消していただくよう無料で一回入浴できる入浴券付きガイドマップを作成し選手や市町の役場などに配布いたしました。大会を終えてみて反省点はあるものの、おもてなしの効果はあったものと思います。当組合の事業として参加できたことはとても良い経験となり、次に繋げていきたいと思っております。



旅館ホテル生活衛生同業組合

「湯治とヘルスツーリズム」作成
インパウンドに対応するツーリズムの可能性

近年、外国人観光客が急増しており、リピーターの増加により都市から地方へと旅先を移しつつあります。そのニーズは「何も無い」がかえって魅力として取り上げられ始めており、「自然」と

「温泉」さらには「体験」の組み合わせは最大の魅力になりつつあります。

そうした中、旅のカタチとして様々なツーリズムにスポットライトが当たり始めており、その一つである「湯治」と「健康(ヘルス)」を組み合わせたツーリズムを取り上げることになりました。今回取り上げた先進地事例では、健康志向の強い利用者に対して「食」や「運動」さらには「湯治」を絡めたユニークな取り組みを紹介しています。

今回の調査研究を通して、関係者が温泉を温熱治療として捉え、そのことが免疫力の向上につながるという前提の中で、従来の湯治の概念を「今湯治(いまとうじ)」という新たな概念に変えながら新顧客を取り込もうとする経営努力は我々にとって見習うべき点が多く、この冊子が広く組合員の皆様のビジネスのヒントになればと作成しました。

当組合では、この冊子を全組合員の皆様に配布させていただきましたので、ご活用いただければ幸いです。

※まだ在庫が若干残っております。追加ご入り用の組合員の方は、県組合までお問い合わせください。



寿司商生活衛生同業組合

「全国すし連 愛知大会」

去る10月24日「第61回全国すし連愛知大会」が盛大に開催されました。『握りの心 世界へ船(もの)づくり愛知から』というテーマは、愛知県が、自動車はもとより航空宇宙産業でも圧倒的なシェアを誇る『ものづくり』が盛んな県として知られることに由来します。今回は初の試みとして、『全国すし研究会愛知県会議』も同時開催され、若手からOBまでの総勢600名が集い、幅広く参加・交流できる有意義な大会となりました。

式典終了後、青年部会の「寿司組合の将来に希望すること」、技術委員会の「伝統技術の継承」、IT情報委員会の「集客」の3テーマに分かれての分科会では、熱心に耳を傾ける参加者の姿を目にし、見聞を広め、遠く離れた同業者と様々な問題についての意見交換を行う絶好の機会である、年に1回のこの学び多き場に、今後も多数の同志と共に参加したい！という意欲を感じました。

大会開催にあたり、準備にご尽力いただいた関係者の皆様に感謝申し上げるとともに、今大会を契機に今までの反省点を振り返り、これからの未来、「人口減少」「高齢化」さらに「消費税増税」が加わる厳しい状況の中、この難関を突破できるよう、また、すし業界の更なる発展に繋がるよう、前向きな姿勢で取り組んでいきたいと思えます。

麺類業生活衛生同業組合

今年も武生麺類組合恒例の『新そばまつり』が、菊人形終了後のフードコートを会場として、11月8日(木)に開催いたしました。

越前の民謡『味真野茶もみ唄』の中に、「茶の香ただよう 味真野里に 今日聞こえる アー茶もみ唄よ」とあるように、越前市味真野地区には昔からお茶が栽培されていましたが、後継者不足から20年ほど前から作られていませんでした。そこで、2年ほど前から復活させようという動きがあり、味真野茶保存会や、日本茶インストラクター福井県支部などが中心となり、最近ティーパック

などの商品化にこぎつけ、今年から抹茶としての商品化も開発するなどの多種多様の製品加工の技術も習得し、地域おこし町おこしに果敢に挑戦しています。数十年前、惜しまれて廃業された武生の老舗『うるしや』さんも抹茶のおろしそばを提供していたこともあり、今回はそばとお茶の融合に着目してみました。当組合としてそばとの相性もよく、『変わりそば』としても代表的な抹茶を使って越前そばとしての可能性を更に一段高めようと考え、味真野茶保存会様との連携協力をいただいて、「茶そば」と「おろしそば」の味比べを企画し、25年培ってきた当組合の新そば祭りのノウハウを生かし、来場者に食べていただくことで色々な意見を頂戴して、新たなご当地麺のヒントにすることを目的としました。

前売り700円、当日800円にて新そばを使い「越前おろしそば」と「味真野茶そば」の計2食を提供。また、時期的に寒いこともあり、「味真野煎茶」も添えて振る舞い。併せて、てんぷら(別売り)を調理、新たな商品開発も模索しながら「手打ち茶そば」の販売も実施。

なお、会場内に味真野茶のコーナーを設置しティーパックや紅茶の販売も試みました。「味真野茶もみ唄」のテープを流して、歴史風土の中で育まれた貴重な民謡の普及、発展にも繋げました。来場者にはもれなくガラポンをしていただき、豪華賞品や組合各店で使用できる食事券(500円相当)などを抽選にて進呈しました。

近年、地産地消の観点から「越前かに」「いちほまれ」「夏そば」など色々な食材を取り入れながら、それなりの効果を上げ、イベントの必要性を改めて実感しました。今回も越前市民の中でもまだ認知度の薄い「味真野茶」を取り入れることで、地産品の認識を高め、会場にて来場者対象にモニターやアンケートを頂き、生の声を聞くことで更なる「越前そば」の可能性の拡大に繋げ、今後の販売のヒントやメニュー開発の参考にできました。

なお、イベント終了後、組合各店にて独自の『抹茶メニュー』を販売し好評を得ました。



喫茶飲食業生活衛生同業組合

去る6月19日(火)、30年度総会があわら温泉「灰屋」にて開催され、29年度事業について、滞りなく消化されたことを報告し、次年度事業・先進地研修・調理講習・喫茶まつり(喫茶スナックフェスタ)その他組合員の為の事業を取り決めました。役員改選を行い、理事長以下ほぼ留任の形で総会は終了。その後開催された懇親会では、各界の来賓の先生方からも貴重なお言葉を頂きました。

本年度は国体開催もあって何かと慌ただしく各事業が遅れがちですが、ただ今2月14日(木)に喫茶スナックフェスタの計画をしていて、お店とお客様との絆等のお客様サービスに貢献できればと参加者を募集中です。組合員増員について、経営難による廃業、高齢化による廃業が加速、増員に向けての特段の妙案が求められます。当組合としても組合員減少の中、運営に問題山積みではありますが、役員一同知恵を絞って事業を推進して参ります。

飲食業生活衛生同業組合

毎年福井県内各支部持ち回りで行われている料理慰問事業を、平成30年度は敦賀支部に担当していただきました。10月27日に第3深山荘様の「秋のいろいろ祭り」が開催されるにあたり、組合員10名で参加しました。今回は、お好み焼きをメインとして、いろいろ汁、フルーツデザート

など5品を、入居者・ご家族の皆様にも無料提供させていただきました。当日は風が強く少し肌寒い天候だったため、温かい食べ物が大好評でした。事前の打ち合わせから、仕込み、当日準備、片付けなど、組合員の協力を得て無事終了できました。

今後も組合員の協力のもとでこのような事業を継続して、地域の社会貢献と組合の組織拡大に繋げていきたいと思っております。



食肉生活衛生同業組合

「『ふくい食の祭典』への出展」

イベント参加事業として、平成30年11月18日(日)に福井県産業会館で開催された「ふくい食の祭典」に出展いたしました。福井県産牛肉の普及・消費拡大のため、風味や口どけがよくまろやかな味わいの三ツ星若狭牛の試食コーナーを設置し、しゃぶしゃぶ1,000食を振る舞いました。また、隣のブースでは、食肉の表示に関する情報をパネル20枚で紹介すると共にアンケート調査も実施し、お肉についてお勉強して下さった方には、『加工食肉には今までの表示に栄養成分の量と熱量 エネルギー・タンパク質・脂質・炭水化物・食塩相当量が新たに加わります。食肉購入の際、ぜひ参考にしましょう。』と、食肉の表示に関する情報が記載されたオリジナルBOXティッシュや、保存食にも便利なお肉屋さんのレトルトビーフカレー等をプレゼントさせていただきました。

おかげさまで試食コーナーには長蛇の列ができ、しゃぶしゃぶの試食を楽しみに待つ間にパネルやティッシュに記載されたお肉の情報をご覧になる方が多く見られ、おいしくって勉強になるイベントとして大盛況でした。



中華料理生活衛生同業組合

第51回全国中華料理業岩手大会の参加にあたり、東日本大震災から7年が過ぎました、被災地においては、道路整備や高上げ工事、そして仮設店舗から本設店舗への移行など復興の歩みは、着実に進んでおりました。そして、大会宣言では、政府は日本経済を長きにわたり苦しめてきたデフレからの脱却を目指している。金融緩和によって金利を下げて為替を円安に誘導し、株価を引き上げ、企業収益を引き上げ、賃金を上昇させ人々の購買力を高め、商品の価格が引き上げやすくなるというシナリオである。しかし、そのシナリオが期待通りに進んでいないのが現状である。我々の業界を見てみると、原材料が値上げされ利益が減少し、コストの削減も限界にきている。すなわち「値上げと客離れのはざま」にある。我々のような零細事業者は個店の特徴を生かした経営が必要と思われる。たとえば値上げをしても、お客様は満足感があれば、対価を払ってくれる。そのためには、食の安全安心の徹底、技術の向上、情報交換が考えられる。個店の発展なくして、組合の発展がない。探究心を持って地域に愛される中華店をつくりあげることでした。



生活衛生営業指導センター・連合会からのお知らせ

衛生水準の確保・向上事業について

平成30年9月18日(火)に福井県職員会館において、県内の生活衛生同業組合、福井県、日本政策金融公庫および当指導センターで構成する「第1回衛生水準の確保・向上事業推進会議」を開催し、「平成30年度衛生水準の確保・向上事業行動計画」を策定いたしました。この会議では、行動計画に基づき、生衛組合の周知広報や組合加入の促進、衛生管理の自主点検など、組合活動の活性化への取り組みを重点的に展開することについて確認しました。なお、第2回推進会議は、平成31年2月6日(水)に開催する予定で、各行動計画に基づいて実施した事業について報告・評価をすることとしております。

クリーニング師研修を開催しました

平成30年度のクリーニング師研修が11月25日(日)福井県職員会館で開催されました。41名の方が参加し熱心に講義を聴講され、好評のうちに終了し、最後に修了証書とステッカーが交付されました。今後も、クリーニング業法により3年以内に1回の受講が義務付けられている研修を必ず受講していただきますようお願いいたします。



後継者育成支援事業 (お仕事体験および高校生インターンシップの実施)

平成30年9月16日(日)に、福井県美容業生活衛生同業組合が「大和田キッズオブワンダー」に参加し、また6～10月に各協力事業所において高校生のインターンシップを実施しました。大和田キッズオブワンダーでは、ヘアアレンジやネイル体験のお仕事体験の機会を子供たちに提供しました。インターンシップでは、福井商業高等学校、丹南高等学校、北陸高等学校の生徒が職場体験をし、生衛業の仕事の内容を少し理解ができたほか、熟練した人と同じような働きをすることの難しさを知るなど貴重な体験をしました。



経営特別相談員研修会を開催しました

平成30年度経営特別相談員研修会を福井県職員会館において、第1回は7月9日(月)に、第2回は12月4日(火)に開催しました。

この研修会には、福井県から委嘱された40名の経営特別相談員を対象として、1回目は「生活衛生業における収益力向上」「最低賃金および業務改善助成金等について」「衛経に関する



テーマ)、2回目は「健康増進法に基づく受動喫煙対策について」「消費税軽減税率制度について」講演等があり、受講者は質問やメモをとるなど、有意義な研修会になりました。

福井県議会生衛議員団との懇談会を開催しました

平成30年10月29日(月)、県議会生衛議員団(山本芳男県会議員、斉藤新緑県会議員、松田泰典県会議員、田村康夫県会議員、鈴木宏紀県会議員、小堀友廣県会議員)と各組合理事長との懇談会が「福井パレスホテル」で開催されました。

懇談会では、組合が抱えている現状と課題・要望について、各理事長から説明があり、県議会生衛議員団に理解と協力をお願いいたしました。県議会生衛議員団からは、生衛業の発展・活性化のために頑張りたいとお言葉をいただきました。

日本政策金融公庫主催のセミナーの開催状況

日本政策金融公庫の県内の2支店が主催し、当センターが後援して、生活衛生関係業者向けセミナーが開催されました。8月6日に福井支店の「経営課題解決セミナー」が、中村佳織氏を講師に、また、8月20日に武生支店の「集客・売上・利益アップセミナー」が、遠山景子氏を講師に、それぞれ、福井商工会議所ビル、武生市文化センターで行われました。8月6日のセミナーにおいては、売上アップを実現するため、いかに固定客を増やすかを実践的に学びました。また、8月20日のセミナーにおいては、商圏内で来店したことのないお客様を集客する具体的な対策を講師から解説していただきました。



福井元気国体・大会が大成功!

9月29日から10月9日まで「福井しあわせ元気国体」、10月13日から15日まで「福井しあわせ元気大会」が開催されました。

福井県生活衛生同業組合連合会では、「おもてなし協力店」160店を募集し、おもてなしの心で福井の食材を全国に向けて発信しました。

また、福井県公衆浴場業生活衛生同業組合では、加入19銭湯を無料開放し、県外選手・役員の皆様に喜んでいただきました。



◆ 生活衛生同業組合 ◆

組 合 名	団 体 住 所		電 話
福井県理容生活衛生同業組合	〒910-1142	吉田郡永平寺町松岡兼定島34-3-2	0776-61-2443
福井県美容業生活衛生同業組合	〒918-8237	福井市和田東2-1713	0776-28-5200
福井県クリーニング業生活衛生同業組合	〒910-0015	福井市二の宮2-28-38 福弘ビル3F	0776-23-4044
福井県公衆浴場業生活衛生同業組合	〒910-0026	福井市光陽4-2-26	0776-22-2761
福井県興行生活衛生同業組合	〒910-0006	福井市中央1-10-17 加賀産業(株)内	0776-22-4744
福井県旅館ホテル生活衛生同業組合	〒910-0005	福井市大手3-7-1 織協ビル7F 712号	0776-22-7449
福井県料理業生活衛生同業組合	〒915-0076	越前市国府1-11-5 糸屋内	0778-22-0054
福井県寿司商生活衛生同業組合	〒910-8537	福井市大和田1-101 中央市場関連商品売場棟	0776-53-3040
福井県麺類業生活衛生同業組合	〒915-0066	越前市神明町1-8 うどん坊山むろ内	0778-23-0096
福井県喫茶飲食業生活衛生同業組合	〒918-8239	福井市成和1-3123	0776-21-7839
福井県飲食業生活衛生同業組合	〒910-0859	福井市日之出1-1-17 ホテルエコノ福井駅前1F	0776-25-0555
福井県社交飲食業生活衛生同業組合	〒910-0859	福井市日之出1-1-17 ホテルエコノ福井駅前1F	0776-23-4833
福井県食肉生活衛生同業組合	〒910-8580	福井市大手3-17-1 福井県生産振興課内	0776-20-0439
福井県中華料理生活衛生同業組合	〒918-8001	福井市つくも2-1-22 来々軒内	0776-36-8200

消費税の軽減税率制度への対応には準備が必要です! 



2019年10月1日から、消費税及び地方消費税の税率が8%から10%に引き上げられるのと同時に、軽減税率制度が実施されます。軽減税率制度への対応には、事前準備に相応の時間が必要な場合があります。早めの準備をご検討ください。

- 標準税率10%と、飲食料品に係る軽減税率8%について
- 帳簿・請求書等を税率ごとに区分して記載することが必要となります。
- レジや受発注システム・会計システム等の導入・改修・入替えが必要になることがあります。

軽減税率制度に関する情報

国税庁 ホームページ内  をクリック

軽減税率制度の説明会を全国で開催しています。ぜひご参加ください。

開催日時、場所については [軽減税率説明会](#)



軽減税率制度に関するお問合せ先

消費税軽減税率電話相談センター **【専用ダイヤル】0570-030-456**
(軽減コールセンター) 《受付時間》9:00~17:00(土日祝除く)

軽減税率対策補助金に関するお問合せ先

軽減税率対策補助金事務局 **【専用ダイヤル】0570-081-222**
URL <http://kzt-hojo.jp/> 《受付時間》9:00~17:00(土日祝除く)